

事業所名

古川やまびこ教室 支援プログラム

作成日

2024年

9月

1日

事業所理念		あそびは子どもたちの大事な栄養素。当事業所は、あそびを通して子どもたち一人ひとりが自分の良さを感じながら自己発揮できる、心のホットステーションです。			
支援方針		<p>子どもの内面の発達や人との関わり方等必要な支援を保護者と一緒に考え、その子どもに適したプログラムによりその子らしくのびのびと活動できる環境の中で支援を行い、集団生活の場でもいきいきと心地良く過ごせるようサポートします。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・リラックスして主体的に遊ぶ中で、楽しむ力・やりきる力をつけます</li> <li>・保護者と一緒に将来を見据えた長期的な視点で子どもたちを支援します</li> </ul>			
営業時間		8時30分から	17時15分まで	送迎実施の有無	あり <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">なし</span>
支 援 内 容					
本人支援	健康・生活	<p>*健康状態の維持や改善、基本的な生活スキルの習得、生活リズムの形成の支援方法を考える</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・安定した活動ができるような環境設定の中で体調や心身の機能を観察して評価する（OTによる専門相談を通して専門的評価も実施）</li> <li>・OTによる専門相談を通してVineLand-IIを用いた適応行動について評価・社会参加に向けた支援を行う</li> <li>・個々に応じた必要な視覚支援や構造化を意識したプログラムを提示する</li> <li>・生活リズムの安定に向けた環境への工夫を考える</li> </ul>			
	運動・感覚	<p>*運動機能、バランス感覚、力の強弱、距離感、様々な身体感覚・感触に触れ、感覚の成長を支援する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・感覚プロファイルを用いた感覚についての評価・分析を行う</li> <li>・揺れる、滑る、しがみつくなど大型遊具等を用いて感覚統合（五感）にアプローチする</li> <li>・手あそびや指あそび、机上課題等での巧緻動作の評価と練習を行う</li> <li>・音楽療法でのミュージックケア活動を実施</li> </ul>			
	認知・行動	<p>*自己理解を通して個々に合わせた方法や環境設定での学びやすさを模索し支援する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・タイムテーブルやタイムタイマーで支援時間と内容を構造化し時間概念を知らせる</li> <li>・粘土やスライム、エンジェルクレイ、工作やブロックあそびを通じた空間認識能力、運動企画の形成に働きかける</li> <li>・小集団あそびによる適切な行動の習得への伴走</li> <li>・自分理解の中でメタ認知を育む</li> </ul>			
	言語 コミュニケーション	<p>*伝える、聞く、真似る、よく見る等、自分も周囲の人も大切にコミュニケーションの学びを助ける</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ジェスチャーや絵カードを用いて視覚的なコミュニケーション方法を伝える</li> <li>・ソーシャルストーリーブックで場面に応じた自分の意思で適切な行動を選択する方法を知らせる</li> <li>・スタートはアイコンタクトから、共同注視、三項関係を育み、応答的関わりやインリアルアプローチを通して、ことばのコミュニケーション能力を育てる</li> <li>・ことばあそび、音韻あそび、おくちの体操、おやつを用いた口腔運動や食べ方を観察する等し、発語やことばにアプローチしていく</li> </ul>			
	人間関係 社会性	<p>*ルールや人に沿う経験を通して必要なスキルの形成、自分の気持ちのコントロールへの支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・未就園児親子の触れ合いあそびでアタッチメントに働きかける</li> <li>・色々な友達や保育士と触れ合い、関わりを通して身近な大人との信頼関係を築く</li> <li>・一人あそび、並行あそび、連合的なあそびの組み合わせと、見立てあそびやごっこあそびを組み合わせた人との繋がり調整を行う</li> <li>・小集団あそびでのルール理解、役割のある協同あそびで協調性を育み、その中で自分の良さを積極的にフィードバックする</li> </ul>			
家族支援	<p>・目標設定、支援内容、子どもの発達等に関し6ヶ月毎に面談を通し評価を行います。</p> <p>・家庭生活での困り感に対し、一緒に考えながら視覚支援やついで遊びなど家庭で無理なく取り組める内容を提案していきます。</p> <p>・保護者の会を定期開催し、一緒に玩具を作ったり、おしゃべりしたりホッとできる時間を提供しています。</p>		移行支援		<p>・療育から保育園や小学校への引き継ぎを丁寧に行い、安心して集団生活が送れる為の環境の整えを保護者さんの思いと共に伝えていきます。</p> <p>・集団生活での保育園での工夫に関しては更に保育所等訪問支援事業「たっち」の紹介を行っています。</p>
地域支援・地域連携	<p>・各保育園や事業所、保健、医療、福祉等各機関との連携に努めます。</p> <p>・子どもが過ごす保育園等生活場面へ、療育での関わりや工夫を伝え、共に考えていきます。</p>		職員の質の向上		<p>・県内で行われる各種勉強会や研修への参加、事業所内研修（虐待防止に関する研修、感染症に関する研修、事故防止に関する研修、支援内容研修等）</p> <p>・多職種によるカンファレンスや情報共有での学びを支援に取り入れ振り返りを行います。</p>